

中央図書館で「調べる授業」

松本 秀峰1年生に初開放

松本市の秀峰中等教育学校の中学1年生が18日、市中央図書館で総合学習の「国際理解」をテーマに調べ学習を行った。図書の分類法や検索機器の使い方など図書館の利用方法を学ぶとともに、一般書の約31万冊の

中から目的に合った本を自分たちの手で探した。生徒たちは3人ほどの

グループをつくり、一つの国の文化や歴史、経済などの調べたい内容を決め、「カナダの料理」や「インドネシアの急激な経済発展について」といったテーマに沿った本を

探した。「イギリスの紅茶」をテーマにした高尾夢喜乃さん(13)は「ガイドブックや紀行文などたくさんあって大変だけれど、検索機で絞って探せた」と話していた。学校の調べ学習の会場として中央図書館が開放されたのは初めてで、館長補佐の百瀬智さんは「今後も学校から利用の希望があれば対応していきたい」と話している。

約31万冊の蔵書の中からテーマに沿った本を探す生徒たち

(片岡 望)



約31万冊の蔵書の中からテーマに沿った本を探す生徒たち